

排水路や沈砂池の泥上げによる 環境負荷緩和機能の維持

—水質浄化、土壌浸食防止—

宜野座村農地・水・環境保全組織



宜野座村の農産物

宜野座村は沖縄県の本島北部に位置し、太平洋に面した村であり、他市町村に先駆け、農業の基盤整備に取り組んだことから、圃場整備、かんがい施設整備率が高い。

主な農産物は、さとうきびをはじめ、花卉類及びパイナップル等があげられる。特にイチゴの生産に力を入れており、2018年には「イチゴの里宜野座村」を宣言するなど、産地化に向けた体制が整いつつある。



沖縄県宜野座村

〔水質浄化、土壌浸食防止〕

当地域では、勾配が急な圃場において、大雨や台風の影響によって圃場内の土壌流出し、耕土が減少している。加えて、耕土が海へと流出することにより、自然環境や水産業に影響を及ぼしている。このため、農業者及び地域住民が危機意識を持ち、地域で定期的に農地パトロールやグリーンベルトの植付け、排水路や沈砂池の草刈、土砂除去などに取り組み、沖縄県で問題となっている赤土流出を防止し、環境負荷を低減するよう努めている。

特にグリーンベルトは、沖縄県赤土等流出対策でもあるベチバー（イネ科の多年生草本）の植付けに毎年取り組んでいる。

〔景観の保全〕

当地域では、赤土流出を防ぐためのグリーンベルトを植栽・管理することで赤土流出防止の効果を高めているほか、農地周辺だけでなく、地域内の草刈りにも取り組み、地域全体の景観保全の効果を発揮している。



沈砂池の泥上げの様子



草刈り作業の様子



側溝の泥上げ